

玉野市立小中学校適正規模・適正配置計画（素案）地域説明会
（荘内中学校区） 会議録（概要）

■日 時 令和6年11月1日（金）19:00～20:00

■場 所 荘内公民館

■出席者 柴田市長、多田教育長、小崎次長、琵琶教育総務課長、的場学校教育課長、清山教育総務課参事

■参加者5名（保護者1名、地域4名）

1 開会

市長あいさつ、教育長あいさつ

2 説明

「玉野市立小中学校適正規模・適正配置計画（素案）」の内容のうち、荘内中学校区に該当する部分を資料に沿って説明。

3 意見交換

参加者1：私は今から30年ほど前、平成5～6年度の2カ年度間、ここの荘内小学校に事務職として勤めてました。当時は1学年5クラス、31学級、1200人以上だったと記憶しています。そのうち紅陽台からバスで通学していた児童生徒がいますが、両備バスで通学していました。学校で一番大切な担任の、帰りの会、今日あった一番大切なことを話したり反省したりする、教員として一番魅力のある仕事がこの帰りの会だと思いますが、ここでいい子を育てるのが教員の仕事だと思うのですが、それが出来なかった。帰りのバスに乗せなければとびりびりしていましたよ。通学距離が遠いから通学バスに乗せなければいけない。あるいは両備バスに乗せなければいけない。こういうことはやはり異常だなと思っています。

私は今でも思うのですが、荘内小学校が二つに分離してもいいと思っています。荘内小に限らず、玉小・玉原小・日比小・二日比小を統合して玉中に移すという提案されていますが、これはひどいやり方だと思います。端っこの方はどうということになるんです。スクールバス用意して乗せるのか、そこが心配なのですが、あまりにも学区が広すぎると思います。こういうことには納得できません。

それから八浜中を無くして荘内中に統合する、私は荘内中にも勤めたことあるのですが、こんな遠いところから荘内中まで来てくれるというのは酷だと思います。天気の良い日ばかりではありません。雨の日も雪の日もある。そういうときに自転車で帰る、それも問題だと思います。それならスクールバスに乗せればいいのかも思いますが、バス通学というのも問題があると思います。

そういうわけで教員のみなさんも苦労しながら頑張っておられたのですが、こういう通学上の苦労を学級担任に背負わず、しわ寄せするようなやり方はよくないと思います。

学校は地域の文化拠点ですから、学校がなくなった地域は確実に衰退していくと思います。荘内小のことを言っているのではないです。八浜にしてもどこにしてもです。地域に学校がなくなることがやっぱり辛い。そういうことはぜひ避けていただいて、できれば人口が増える対策を市長さんはじめ、玉野市の仕事としてやっていただきたいと思っています。

参加者2：母校がなくなるというのは、歴史がね、八浜の漁港のあたりから栄えているのでしょう。自分の経験は、八浜小学校、大崎分校を4年行って、八浜小へ2年行って、八浜中へ行った。私は大崎小へは2年の1学期

から行きました。親の関係で、一番最初は灘崎小へスクールバスで行ってました。子どもだからわからなかったけど、明日から大崎小学校へ行きなさいと言われ、自転車で行ってました。本校へも自転車で行ってました。大崎の人はバスで行ってましたけどね。中学校になったらみんな平等に自転車で行ってたのですが、第1回の説明会の時にも、大崎小から3キロ以上歩かすのかとか、学校が無くなったら八浜は衰退しますとか意見があったでしょう。

玉野市は岡山の合併を拒否したんでしょう。それで単独で残る以上はそういう学校、義務教育ですよ、高校はどこでも好きなところ行ってくればいいけど、工業高校も、商工高校なんて役にたたんと思いますよ。倉敷や岡山へ行くために引っ越すというも聞きます。

質問ですが、岡山市の山南学園、小学校を合併して中学校としてますが、ああいう方式には出来ないのですか。大崎小・八浜小・八浜中を合併させて八浜学園、みたいなそういう系統には出来ないのですか。

今のこの説明をきいて、減ってってるのはわかりますよ。荘内中は一番大きいのですよ、玉野市で。それでなんで八浜中を合併させないといけないのですか。それはおかしいと思いますよ。八浜中のへんに土地買うから、荘内中全員来いといったらこれですか。

僕らだって中学校行って、僕らの孫は岡山市だから関係ないけど、行政として子どものためにしたわけですよ。母校がなくなったらどうするんですか。小学校・中学校といったら基本でしょう。

なぜ岡山市との合併をけったでしょう。人口が少ないのはわかっていますよ。それでなぜ八浜中が荘内中へ来ないといけないのですか。おかしいと思いますよ。ただ学校の先生を減らすために。僕らからしてみたら思いますよ。お金がかかるというのわかりますけど、なぜ地域の学校を、僕は八浜が荘内に行くのが気に入らない。もし合併するのなら東児とかじゃだめなんですか、スクールバスで行くのでしょうか。東児と山田と八浜だったら300人か400人ですよ。一番大きい学校になんでひっつけるんですか。荘内はまだ増えると思いますよ。実際増えてますよね。一番大きい学校と合併とかが不思議でならない。自転車で来いとか、今頃光南高校の子でも困りますよ。パンクしたら自転車屋が無いでしょ。ノーパンクタイヤでいけばいいだろうけど。そんな自転車ばかりないですよ。光南高校の子もなんか困りますよ。うちの子も光南高校行ったけど、僕が送り迎えしたから、うちの子もは1年生のときちょっとだけ自転車乗っただけで、親が送り迎えしたんですよ。光南高校なんかは広いから困ってますよ。だから合併が気に入らないのと、なぜ東児と合併してくれないのか。スクールバスで行くのなら東児八浜山田でひっつけてくれたらいいんじゃないかと思います。なんで荘内に来ないといけないのか、不思議でかなわないです。

事務局：八浜中学校区の再編については、教育委員会でも様々なことを検討しました。

まず、八浜中・山田中・東児中の統合する案も検討しました。検討委員会からの答申では、中学校は令和9年4月の統合を目指し、速やかに市内全域統合の準備に着手することが望ましく、早期に対応することが望ましい地域については計画策定後速やかに統合に着手する必要があるとされています。

八浜中学校・山田中学校・東児中学校のうち山田中と東児中はすでに全学年で単学級となっており、一クラスの人数も非常に少ない。可能な限り早期に再編が必要な学校と教育委員会は考えております。

3校を統合すると確かに1学年3学級になる見込みにはなっておりますが、特別支援学級などの教室数を加味しますと、現在の八浜中学校では教室数が不足しており、増築する必要があります。新しく校舎を建てるにしても、最低でも3年は必要となります。

特に山田中学校は現在でも全校生徒が35人しかおらず、少しでも早く統合する必要があります。

八浜中ではなく東児中を使ったらいいのではないかというご意見もありますが、確かに東児中なら教室数は

足りません。しかし、八浜中学校から東児中学校まではバスを使うルートとしても峠を二つ越えて通学する必要があり、ルートなどの課題があります。

そういった理由でこの統合は課題が多くて難しいと、教育委員会では判断しました。

一方で、荘内中学校と八浜中学校を統合する案については、学校間の距離は離れていますが、平地移動ということもあり、大崎小学校区の多くは自転車通学が出来ることもあり、比較的課題が少ないということで、今回の八浜中と荘内中を統合する案とさせていただきます。

参加者 2：合併ができませんのか教えてください。

事務局：岡山市の山南学園のような義務教育学校については、今の時点では考えておりません。

参加者 3：私は 38 年学校に勤務しました。そのうち 34 年間は中学校に勤務しました。1 学年 7 クラスの学校も、5 クラスの学校も、学年 1 クラスという中学校にも勤務しました。5 年間は荘内中学校で勤務させていただきました。4 年間は八浜小学校に勤務しました。中学校に勤務していたときにはわからなかった、小学校が地域に守られて、地域と密接に結びついて存在しているのを改めて感じました。めちゃめちゃ温かい地域に支援をいただいて、子どもたちは 6 年間で過ごしていたと思います。地域を担うのは子どもたちだと思います。中学校では感じなかった密着なものを感じました。だから中学校と小学校を同時に学区を変えていくのではなく、小学校と中学校を切り離して教育委員会の方には考えてもらいたいのが一つ。

学区というのは親とつながるものなので、何かあったときに駆けつけてお父さんお母さんと話ができる、そういう距離であって欲しいと思います。この説明をきいた限りでは、すぐに駆けつけられる距離とは思えないし、これからの目指す教育、子どもの主体的な学び、これ全部私たちがやってきたことです。体育の先生や音楽の先生はわかりませんが、教室で勉強する子どもたちは、意見を発表したり出したり、これは今までもやっていたことだと思います。この計画案も、これは素案ですよ。たぶん教育委員会の英知を集めて作られた素案なんだろうと思います。それを突き進んで、不登校の生徒が増えたり、学力不振で人生を誤った生徒が出来ても責任とれますか。今私は直接教育を携わる立場にありませんが、最近の子どもたちの書く作文とか見る機会がありまして、形がとれてない、筆圧の弱い小さな文字、これでいいんだろうかととても心配です。子どもたちの文字を書く力がなくなっていると感じます。このままパソコンが堪能であっても、生きていけるでしょうか心配です。この英知を集めたものが作れるのなら、保護者や地域の方の英知も集めてこの素案をすりあわせていくことが可能ですよね。家という単位で考えたら、子どもの教育のためなら少し無理をしてもお金を工面して子どもを学校に行かせますよね。玉野市も将来を考えたら子どもや児童生徒のためにお金を使うことはいとわないんじゃないかと思うんですよ。無駄遣いをしなさいとは言っていないんです。英知をみんなで出して、人口減、生徒数減、日本中に玉野市の見本、プランを胸を張って言えるような、素案じゃなくて案としてすることは出来ないでしょうか。今はまだ素案なので、でもみなさんの意見を聞いていたら、地域の言葉、声、保護者の声を聞いてその英知を集めて素案をすりあわせ、いただけたらと思います。市長、どうなんでしょうか。

市長：これはあくまで素案ですので、まったく修正しないということではありません。ですからこうやって説明会をしておりますし、その中でみなさんの声もしっかり聞きながら最終的に案になっていくというものであります。

参加者 3：東児学区、胸上と鉾立の準備委員会もとても紛糾していると聞きます。でも紛糾しても意見をすりあわせて、玉野市の英知を集めて日本にモデルとなるような小規模校になるにしてもそういうものと考えていただきたいと思います。

事務局：ここにいたるまでに時間をかけてます。ご存じかもしれませんが、未来の学校づくりプロジェクトチームが令和 3 年 5 月に立ち上がって、ここに来るまで 3 年以上かけてます。特に令和 4 年から、適正規模・適正配置の

検討委員会というものを立ち上げて、地域の方や中学校区のPTAの方、コミュニティの代表の方で、子どもたちにとってよりよい教育環境を一生懸命考えていただいて、1年半くらいかけて、出てきた答申を受けた計画にさせていただいております。

参加者4：なぜ今この話をされてるのかわからないといいますが、10年くらい前から生徒が減るのがわかっていたのに、なぜこんなに急に、かなり強引にやられている気がします。もっと早くにやってほしかった。

前市長・教育長と親しくさせてもらっていますが、前の教育長もやろうとしていたし、今荘内中の校長に聞いてもやろうとしてた。でも、だいたい反対されたり、うまくいなくて廃案になったり、結局こんな状態になってから急激にこういうことをやるから反対意見も出るだろうし、納得いかない方も大勢おられるんだろうけど、正直、僕は早くやればいいと思います。市長と教育長が早く決断してもらって、早くやってもらうのがいいと思います。

荘内中の校長といろいろお話しする機会があるのですが、全国から荘内中に視察が来るくらい荘内中は注目されて、今年は入学式に伊原木県知事も来られていたり、かなり注目されている学校で、他の市や県からも、ここに入学したいと言う人が大勢おられます。

だから、僕は早くやってもらって、もっと荘内中のやり方を玉野市で広げてもらって、ただいろいろ問題はあると思います。通学の問題とか、感情的に学校が無くなるのは僕も嫌ですけど、人口減少は日本の問題なので、市長に言ったところで人口は増えないし、県知事に言っても増えることはないの、これは適正な学校の数に早くしてもらって、子どもは40人、50人くらいの1クラスで教えるのが僕は適正だと思いますし、自分がちょうど団塊世代ジュニアなので、当時1クラス多かったの、その時は楽しかったですし、大勢いる方が運動会とか10人くらいでやるよりは200人くらいでやったほうが僕はいいと思います。

あとは、教育も変わってきていると思います。昔そろばんだったのが、僕らの時は電卓使ったり、今はスマホでやったりiPadでやったりしているので、僕らでもわからないようなことをもう子どもたちはやっているの、僕らが校長に聞いてもわからないようなことを子どもたちはやっているの、時代はそういう流れになってきているの、字が汚いとか、今は字を書くことすら、仕事しててもあまりないので、だんだんそういう時代になってきているのかなと感じます。

他の市はもっと早くやっているの、倉敷市の下津井はもう義務教育学校に近々されるそうですし、玉野市もなんでこれをしないのかと思うくらい、一回やろうとしてたようですが、それが結局廃案になってますし、そういうのも正直早くやってほしい。子どもたちが玉野に残って玉野市で就職してもらうことを願ってます。求人かけても他の市にとられたりとか、人が来ないとかそういう問題もあるので、子どもたちにいい教育をしてもらって、玉野市で仕事をしてもらえるような子どもが増えればいいかなと思います。

参加者5：先ほどのご意見のなかに、地域や市民の意見をしっかり吸い上げてというのがありましたが、私自身検討委員に入らせていただいたので、私なりにしっかり伝え、他の方からも意見を本当に多く聞きました。検討委員自身が本当に苦しい1年半だったと今でも思い出します。

もちろんこれが誰にとってもいい素案ではないということも検討委員はわかっています。

でも、玉野市で生まれる子どもの数が250人を切ろうとしている今、もうやらないと。一人だけ入学する地域があることもわかっています。ここでこれが進まないとなると、きっと数年後、また同じ苦しみをしないといけない地域の人や教育委員の方が出てくるのが目に見えているので、どこかで誰かが決断をしないとこれは進まない。

今ここでみなさんが、自分の学校がなくなるだとか、とても立派な教育をしてこられたとは思いますが、思い出話ではなくて、これからの子どもたちが社会の中で立派に生きていくための教育を考えるための説明会であってほしいと思います。